

和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.10★

10月に入り、朝夕は涼しくなったものの、まだまだ日中は30度近くの夏日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、創刊からまもなく2周年を迎える文化国際課メールマガジンも、記念すべき第10号を発行することとなりました。

今回のメルマガは、国際交流員が和歌山県内の観光地を訪問し、外国人旅行者の方々にアンケートを取り、生の声を聞いてきましたので、どうぞご覧ください。



◆文化国際課だより◆

●●●●●●●●●● 青少年交流事業レポート：ブルネイ編 ●●●●●●●●●●

県内の高校生・大学生 15 名が 8 月 16 日～23 日にわたり、ブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。日本とは異なるイスラム文化を持つブルネイ・ダルサラーム国を訪問し、現地の学生との交流やホームステイなどを通して、異なる互いの文化を学び理解していくことを目的に、平成 21 年から派遣を実施しており、今回の派遣が 4 回目となります。

参加者は、在ブルネイ日本国大使館の表敬訪問やウル・テンブロン国立公園でのネイチャーツアー、ブルネイメタノールカンパニーや太陽光発電所見学などに加え、現地の学生との交流やホームステイなどを通して、日本とは異なる生活を経験しました。特に、訪問した時期が、イスラム教徒の断食月・ラマダン明けのハリラヤというお祝い月であったため、家族や親戚・友人が集まり、伝統的な衣装や料理で互いをもてなす行事“オープンハウス”にも加わることができました。

8 日間の貴重な体験を通して、参加者からは、「公用語がマレー語であるのに、英語が流ちょうなブルネイの人達に驚いた。英語をもっと勉強する必要性を感じた。」「ハリラヤの行事や、イスラム教徒の生活を体験することができ、日本での生活との違いを感じた。」「エネルギー関連産業や社会システムを学び、資源国の豊かさを感じた。」「メールや Facebook 等を使って、今後もやりとりを続けていきたい。」などの声が聞かれました。



ホストファミリーとの交流

後日、和歌山県ホームページ内インターネット放送局にてブルネイでの模様の一部を動画配信する予定です。ぜひご覧下さい。(昨年と一昨年の模様は今もご覧頂けます。)

<インターネット放送局> <http://www.pref.wakayama.lg.jp/nettv/>

●●●● 青少年交流事業レポート：スペイン・ガリシア州編 ●●●●

スペイン・ガリシア州にある巡礼道“サンティアゴへの道”と和歌山県の熊野古道は世界でも類を見ない姉妹道提携をしており、多岐に渡る分野での交流が行われていますが、青少年交流に関しては2010年より相互交流を行っています。

青少年交流事業は今回で3回目を迎え、7月8日～15日に、18歳～30歳までの男女15名が和歌山県を訪れ、さまざまな体験や交流を通じ、理解を深めました。

7月9日は、和歌山県の伝統文化である海南の漆器・蒔絵の体験をしました。紀州漆器伝統産業会館でのお盆作りは1時間という短い時間でしたが、花や蝶の図柄への蒔絵の他、漢字で日付や名前をいれるなどオリジナリティー溢れる作品に仕上がっていました。



友好関係の原点、熊野古道にて

また、この日は歓迎昼食会のあと、芦原小学校で6年生22名と交流しました。鼓笛隊の歓迎演奏を受け、ガリシア側からスペイン全般やガリシア州に関するプレゼンテーションが行なわれ、その後はグループに分かれ、たこ焼きを焼いて食べました。これで一気に両者の緊張がほぐれたのか、スペインの参加者は家族や風景の写真を見せたり、6年生は漫画やゲーム、サッカーボール、梅干など興味のある物を見せて会話に興じていました。

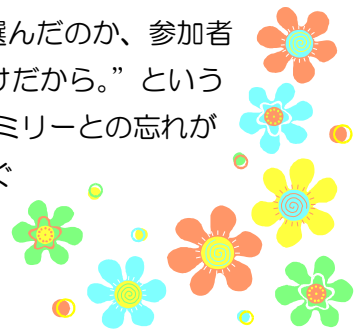
スペインの子供たちが大好きな“Oka”というボードゲームをしたり、ガリシアンダンスや盆踊りを披露し合ったり、当初心配された言葉の壁や年齢差などは全く問題とならず、参加者は口々に「交流時間をもっと長くして欲しかった。」「とても楽しかった！」と言っていました。

11日は湯浅町伝統的建造物群保存地区を見学し、うちわや和菓子のサービスをいただきながら町並み散策しました。現在も伝統的な醤油作りを続けている老舗の醤油店「角長」では、製造工程の説明を受けた後、絞りたての醤油の味見をさせてもらい、その美味しさに感激していました。

また、熊野古道の散策日には、世界遺産センターで熊野古道について、またサンティアゴへの道と熊野古道の共通点について説明を受けました。この日、和歌山は猛暑でしたが、緑に恵まれた発心門王子から本宮大社までの道のりは快適で、景色を楽しみながら両道の違いや魅力について語りながら歩くことができました。

日程最後の四日間（三泊）はホームステイでした。ガリシア州は世界各地と盛んに交流事業を行っています。数ある交流先の中からはなぜ和歌山を選んだのか、参加者に聞いたところ“ホームステイの経験ができるのは和歌山だけだから。”という声が多く聞かれました。最終日は、それぞれがホストファミリーとの忘れがたい数々の思い出を胸に、涙をこらえてのお別れとなり、“すぐに和歌山へ戻ってきたい！”と言う参加者もいました。

これからも両州県の関係がより深まるような交流を増やしていきたいと思っています。



Welcome!

欢迎!

外国人観光客アンケート調査

잘 오셨습니다!

Bienvenidos!

私たち国際交流員が携わる業務の中のひとつが、“和歌山県を海外にPRする”ことです。毎年多くの外国人観光客が和歌山県を訪れており、駅や観光地でもよく見かけるのですが、彼らはどういう目的で和歌山に来て、実際にどのような印象を持っているのでしょうか。直接その答えを聞くことで今後の業務に活かしていけるのではないかと、ということで、8月中の2日間、和歌山を代表する観光地である高野山と白浜で、アンケート聞き取り調査を行いました。



●●●高野山●●●



英語・スペイン語担当が向かったのは高野山。高野山が欧米人に人気の観光地であるということはもちろん把握していましたが、今回アンケート調査に行き改めてそれを実感することができました。当初は、答えてくれる人に出会えるのだろうか、という心配もしていたのですが、到着するなりあちらこちらに外国人観光客の姿を見つけることができました。

限られた時間での調査でしたが、34組もの方々にお話を聞くことができました。やはり、多かったのはドイツ・フランス・スペインを中心としたヨーロッパからのお客様です。団体ツアーで来られた方はおらず、家族や友人などとの少人数でのグループ旅行で、長期休暇を利用し10日間～数週間に渡り日本各地を巡っているという方がほとんどでした。日本には数回来たことがあるという方もおられましたが、和歌山に来るのは皆初めてとのことでした。各国のガイドブックや様々なインターネットサイトで和歌山県、特に高野山が取り上げられていることから興味を持ち訪れてくれたようです。中には、数日に渡り高野山に滞在しているという方もいましたが、多くの場合は大阪から電車を使った日帰りで行かれていました。道中も緑の中山頂を目指すケーブルカーからの景色を楽しんだようでした。





和歌山を旅行先に選んだ理由が多かったのは、“高野山やその宗教文化・お寺に興味があったから”“自然が豊かであるから”というものでした。宿坊に宿泊したり、精進料理を食べたりと高野山ならではの体験をした方も多かったです。和歌山の印象は“とても良い”と答えて下さった方が最も多く、そう思っていただけで嬉しかったことが嬉しかったです。最も印象的だったことを聞くと、“奥の院の幻想的な風景”“自然の美しさ”“人々の親切さ”などが挙げられました。

友人と2人で旅行中のベルギー人の男性（29）は、「ガイドブックで和歌山を知った。とても自然が美しく感動した。これから電車で紀伊半島を一周する予定で、白浜にも立ち寄りたい。」と言い、大きなバックパックを背負い高野山を後にしました。

今回のアンケート調査では予想以上の人数の方々にお話を聞くことができ、高野山の人気の高さを再認識するとともに、生の声を聞くことができとても有意義な一日でした。逆に「おすすめは？」などの質問を受けることもあったので、和歌山の魅力を直接伝えることができました。

●●●白浜●●●

夏本番、多くの観光客で賑わう白浜。アジア各国からのツアー客に人気ということで、中国語・韓国語担当が調査に向かいました。ところが、白浜には観光客に人気の名所やスポットが点在しており、また、どこも日本人観光客で大混雑の中、外国人観光客を見つけることはなかなか難しく、三段壁と白良浜で行った調査は少し難航しました。



想定していた団体ツアーのアジア人観光客とはなかなか会うことができず、悪戦苦闘。高野山同様、ヨーロッパからの個人旅行中の方々に会うことのほうが多かったです。



インタビューすると、和歌山を訪れるのは初めてという方がほとんどで、県内の訪問先としては、白浜以外には高野山が一番多かったです。和歌山については、ガイドブックやインターネットサイトを通じて知ったとのことで、特に高野山・白浜・パンダ（アドベンチャーワールド）が良く知られていました。和歌山の印象については、嬉しいことに白浜でも多くの方が“良かった”と答えてくれました。

今回お話を伺うことができた数少ないアジアからのお客様は、香港から来られた2組です。2組とも日本に来るのは4回目、5回目という日本通で、ガイドブック・インターネットに加え、テレビ番組で和歌山が特集されていたことや知人からの薦めで今回初めて和歌山を訪問先に選んでくれたそうです。一組は、温泉や海産物がお目当てのご家族。一家全員が口を揃え、「和歌山の海鮮料理は最高!」と言ってくれました。もう一組は30代の男性2人組で、和歌山の果物を絶賛していました。温泉と自然の美しさが最も印象に残ったそうです。



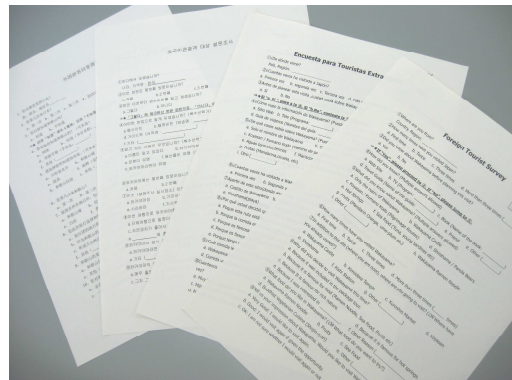
少し苦戦した白浜でのアンケート調査でしたが、出会った方々は皆笑顔で、和歌山を存分に楽しんでいる様子であったことがとても印象的でした。

●●●アンケート調査を行ってみて●●●

今回初めて行ったアンケート調査では、2日間で計45組の方からお話を聞くことができました。世界各地に“和歌山”が知れ渡っていること、実際に足を運んで下さっていること、さらに、多くのかたに和歌山の印象を“良かった”と答えてもらえたことがとても嬉しく誇らしく思いました。

また、和歌山にいる私達とは異なる視点にも気付かされました。“英語表記を増やして欲しい”など観光地・和歌山をよりよいものにする為のご意見や、現在取り組んでいる災害時の対応策に関するご提案もいただきました。貴重なご意見は関係者と共有し、今後活かしていきます。

世界に誇ることのできる和歌山。その魅力をより多くの方に伝えるお手伝いを、国際交流員一同、より頑張っていきたいと思えます。



4カ国語に翻訳したアンケート用紙

Thank you!

감사합니다!



谢谢!

Gracias!

外国文化に興味を持たれている方にお勧めの映画を国際交流員が紹介します。
今回は韓国語担当のおすすめです。



『ラブストーリー』（2003年）韓国映画

太陽が海をほのかに照らしたら僕は君を想う

月明かりが泉に浮かんだら僕は君を想う

外を見て。風に木の葉が揺れると

あなたが愛している人があなたを愛しているということ。

耳を傾けてみて。胸がときどきしていたら

あなたが愛している人があなたを愛しているということ。

目を閉じてみて。顔に微笑みが浮かんだら

あなたが愛している人があなたを愛しているということ。

— 『ラブストーリー』の中でジュナがジュヒに送る手紙—

あらすじ：女子大生ジへはある日、母ジュヒが大切に保管していた古い手紙と日記を見つける。そこには、母が若い頃愛した人(ジュナ)とのやりとりがつつられていた。それを夢中になって読むジへもまた、切ない恋の最中。

時代を隔てた2つの恋の行く末が描写され、やがて結びつく。

母と娘のラブストーリーを描いたクラシックな映画。

個人的に一番印象に残るシーンはジュヒとジュナの再会のシーンです。戦争で視力を失ったジュナが戦争から戻ってジュヒと再会しますが、視力を失ったことを隠そうとするジュナとそれに気付いたときのジュヒの切なさがよく描かれています。美しい映像にふさわしい音楽にもぜひ耳を傾けてみて下さい。

◎和歌山県職員による「異文化体験記」◎

皆さん、好久不见（お久しぶりです）！

さて、前号では、私の住んでいる街、山東省・済南市（さいなんし）の様子について紹介しましたが、今回は私の中国での学生生活、そして中国の若者に大人気の〇〇〇についてお話ししたいと思います。



◆中国での学生生活

不安いっぱいだった私の中国での学生生活。まず、驚かされたのは国際色豊かなクラスメイト達でした。お隣の韓国は勿論、ロシア、インドネシア、ケニア、アメリカ、ハンガリーなど、世界中の国々から学生達が集まっています。私も含めて、生徒たちの中国語は流暢というには程遠いレベルなのですが、間違いを恐れることなく、いつも元気いっぱいに先生の質問に答えるので、授業中はいつも賑やかで、笑い声が絶えません。

殆どの留学生は一つの宿舎に住んでいるので、授業が終わった後も、皆で一緒にご飯を食べたり、時にはパーティーをしたりします。私も、異国の若者たちに負けじと、8年ぶりのキャンパスライフを満喫しています。



大学での授業風景



パーティーは大盛り上がり！

◆中国でも大人気の〇〇〇

「カイゾクオウニ、オレハナル！」。私とおしゃべりをしていた中国人の学生が、突然、そう叫びました。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、これは、日本でも大人気のアニメ「ワンピース」の主人公のセリフです。

私は今、学校の夏休みを利用し済南市になる山東博物館で研修をしているのですが、そこでボランティアの皆さんと仲良くなることができました。彼らは、歴史や文化に興味がある済南市出身の高校生や大学生で、夏休みを利用して、博物館の来館者に展示物の説明を行うボランティアをしています。

そんな彼らが大好きなのは、日本のアニメ。最初は、日本人である私に気を使ってくれているのかと思っていましたが、日本のアニメやゲームは中国でも本当に人気があるよう

で、中でも、海賊王（ワンピース）や柯南（コナン）、灌藍高手（スラムダンク）の3作品は、10人程いたボランティアの皆が見たことがあると話していました。

ボランティアの大学生の一人は、今度の休みを利用して日本に旅行に行くようで、行き先の中には、勿論、日本のサブカルチャーの聖地・秋葉原も含まれているとのこと。また、日本語を専攻している中国人には、日本のアニメを見て日本語に興味を持ったという方も沢山おり、日本のアニメの人気を肌で感じています。



山東博物館



大学生のボランティア達

さて、今回はここまで。中国でも、うだるような暑さの夏は過ぎさり、大学構内の落ち葉が、秋の到来を予感させます。

私も中国に来て4か月が経ち、少しずつこちらの生活にも慣れてきました。しかし一方で、現時点での語彙力では自分の考えを正確に伝えられないと、もどかしく感じる事も増えてきました。

もうすぐ後期の授業が始まりますが、中国人の方々と本音で話し合う為にも、気合を入れなおして臨みたいと思います。それでは皆さん、またお会いしましょう。

海出 義和（平成25年4月より中国山東省派遣）



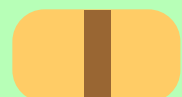
クイズ! 海外豆知識!

「中国も漢字を使っているのだから、中国語が話せなくても、なんとか筆談でコミュニケーションが取れるだろう」と思っている人が少なくないことでしょう。しかし、言語の違いで、同じ漢字でも意味が全く違うことがありますので、間違えればビックリされるかも知れません。例えば、日本語の「娘」は中国語では「お母さん」という意味になります。

では、下記の中国語の意味を当ててみましょう!

- ①手紙 A.手紙 B.本 C.トイレットペーパー D.新聞
- ② 走 A.跳ぶ B.走る C.泳ぐ D.歩く
- ③老婆 A.お婆さん B.奥さん C.お姉さん D.彼女
- ④丈夫 A.主人 B.叔父さん C.大丈夫 D.お父さん

Quiz



今回のメルマガいかがでしたでしょうか。我々も外国人旅行者の方々の生の声を聞くことにより、いろいろな角度から和歌山を分析することができ、また、いままで気づかなかった様々な和歌山の良さを再発見することもできました。

季節の変わり目であり、また朝晩の寒暖の差が激しい今日この頃ですが、お風邪などひかれぬようどうぞご自愛ください。

また次回のメルマガをお楽しみに。



クイズ! 海外豆知識! の解答

- ① C.トイレットペーパー
- ② D.歩く
- ③ B.奥さん
- ④ A.主人



Answers

